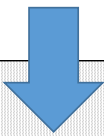


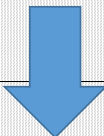
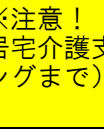


高齢者総合相談センターが担当している要支援利用者が  
要介護認定申請をした場合の注意点

	高齢者総合相談センター	居宅介護支援事業所のケアマネジャー
要介護認定申請 	<b>利用者に説明</b> ●要支援利用者から要介護認定（区分変更）申請を受けた際には、居宅介護支援事業所のケアマネジャーが担当になることも利用者へ説明する。（要支援の場合は委託する可能性あり）	
居宅介護支援事業所の選定 	<b>ケアマネジャーに依頼</b> ●当該利用者のケアマネジメントについて、認定結果が要支援でも要介護でも担当可能な（又は、 <u>要支援となった場合の担当が、高齢者総合相談センターに戻る可能性を理解してもらえる</u> ）居宅介護支援事業所を選定、依頼する。  依頼先の居宅介護支援事業所及び当該利用者と初回訪問の日付を調整する。	<b>依頼を受ける</b> ●高齢者総合相談センターからケアマネジメントの依頼を受けて、センターと初回訪問日時を調整する。
利用者訪問 暫定ケアプラン作成 	<b>同行訪問</b>	<b>同行訪問</b> ●初回は高齢者総合相談センターとともに当該利用者宅を訪問し、一連のケアマネジメントを開始する。  アセスメント・暫定ケアプラン作成
サービス担当者会議等 	<b>サービス担当者会議参加</b>	<b>サービス担当者会議開催</b>
その後のケアマネジメント 		●その後のケアマネジメント（モニタリング等）

※注意！

居宅介護支援費を請求するにあたり、一連のケアマネジメント（アセスメントからモニタリングまで）を申請月内に実施していない場合は、運営基準減算になってしまいます。